

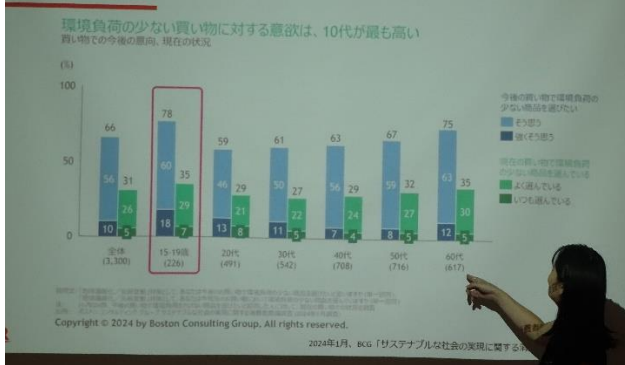
ハローキャリアワーク通信

令和6年7月31日

教育総合センター

事業推進担当課

日本消費者の現状



7月29日、二子玉川に本社のある「楽天グループ株式会社」から『サステナブルな世田谷のまちづくりを考えてみませんか?』というオファーに应运、午前、午後の2回実施しました。各回20名合計40名の予定でしたが、小学校3年生から中学校3年生の子どもたち、38名



(当日欠席者2名)の参加がありました。

今回は、午前午後とも同じ内容で進められ、初めは担当者の楽天の地域事業創生事業部エバンジェリストグループの平井江理子様から自己紹介を兼ねてご自身が取り組まれている「サス



テナブル消費」のWEBメディアの編集及び「地域の未来を考える」学生向けの授業の取り組みなどの話がありました。また、楽天グループの創業から現状の様子についても子どもたちに質問形式で行われ、会場の雰囲気をもたせながら進められました。子どもたちからは「楽天」と聞いて、知っていることとして、「楽天ペイ」「楽天モバイル」「楽天イーグルス」など、幅広

く答えていました。そのことに平井様も嬉しさと驚きの表情を見せていました。また、楽天グループの現状として、社員



6名で始められた会社が約3万人の社員、世界30カ国・地域、グローバル利用者18億人超というお話がありました。そして、楽天グループのミッションとして『イノベーションを通じて、多くの人々と社会の成長を後押し、社会を変革し豊かにする』ということを目指しているとのことでした。さらに『イノベーション』について、「できない」を「できる」に変えることと分かりやすく説明してくださいました。さらに、世田谷区にいろいろな仕事をして、たくさんの人がいることを知ってほしいと、楽天で働く人たちについても教えてくださいました。社内公用語は基本的に「英語」で、その入社基準はTOEIC800点とのことでした。ここで、もっ



と、ここで、もっ





と楽天の様子を知ってほしいことから「オフィスツアー」が組み込まれ、2つのグループに分かれて本社内の見学になりました。このツアーでは、楽天の福利厚生やカフェテリア（社員は無料）、社内のダイバーシティに配慮した食事の提供、日本全国や世界中の支社をつなぐ会議室（700名収容）や礼拝などその宗教に応じたプレイルーム、コンビニやスポーツジムの施設などについても教えてくださいました。最上階に近い場所からの眺めも天候に恵まれ絶景でした。再度、部屋に戻り、休憩を挟んで、世田谷区の「サステナブルな消費をもっと盛り上げてほしい」と話され、「サステナブルな買い物」などの現状についてデータを基に話さ



れ、サステナブルな商品の目印として国際認証をはじめ身近にある「有機 JAS 認証」「PSPO 認証」、「国際フェアトレード認証」を取得している認証商品などを探す事前課題について、子どもたちのグループ内での自己紹介と調べてきたことの共有を図らせました。その後、グループワークとして「世田谷のサステナブルな消費をもっと盛り上げるには」という方策について1つ以上考えを出し合い、発表するという時間にしました。グループ内では自分が調べてきたことを基に「イベントの開催」「アプリの開発→ネットスーパー→ポイント」「キャラクターをつける」「CMで宣伝する」「サステナブルな商品販売コーナーを多くする」「スタンプカード」など様々な考えが出されました。午前午後ともに子どもたちは、サステナブルな買い物について、こ



れまでにない思いを寄せたキャリアハローワークになるとともに、参加した子ども同士や楽天のサポートに入ってくださった方との関係を深めるなど、人との関わり方もより充実させたようでした。以下当日の様子です。



